



農協のスーパーに買い物に行く途中のトシさん

歩いて会って何でも話す

ワクワクの突撃取材

あつてえグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

今回訪ねたのは
「真中・二井田地区」



今号より、新たにレギュラーとしてスタートする「あつてえグッド」です。大館を歩き回って、皆さんへインタビューする新企画です。出来るだけ多くのかたと話をして、地域の紹介を織り交ぜながら回を進めて参ります。取材に伺いましたら、ご協力をよろしくお願いいたします。

な

にせ記念すべき第1回目。さあどこにしようかとあれこれ考えあぐねた末に、決めたのは真中地区。理由は、新大館市の真ん中は真中地区??? でも、まっぴいとかあと二井田方面からいざ敢行。二井田・真中地区は、大館の穀倉地帯と称するだけあって、広々とした田んぼが気持ちいい。誰かに声を掛けねばと思っては見ても、真つ昼間の田畑に人影はなし。そうだよナー…とその時、自転車でこちらに来る人あり。「こんにちは、市役所の広報担当の者ですが、少しいいですか?」。自転車を降り応じてくれたのは、長崎トシさん(中台)。「写真も撮るの? イヤーいい格好してくれば良かった笑」。長靴姿が気になったみたい。「家の前の下水(側溝)の流れが悪いのヨ。直して欲しい」。思わぬ注文に、こりゃ、御用聞きも兼ねることになるぞ、と今になって気が付く。でも1人目の取材を終えてひと安心。ムム、気持ち切り替えてGO!

広

い畑に作業中の人パラパラ4人。手を休めて気軽に話してくれたのは、因幡イネさん(小坪川原)。農作業の経験のない当方に「カボチャの芽かきをしているの。何本か出ているつるをこうして取って、1本にするの。そうするといいいカボチャが育つのよ」。それにしても根気のある作業では? 「カボチャ2,500本をやるんだけど、ここは1,000本ぐらい。ノーすい。

広~いカボチャ畑



「カボチャは東京、ヤマノイモは大阪、アスパラも東京かな。高く売れるといいけど」とイネさん